

令和6年度

要 覧

沖縄県立玉城青少年の家

〒901-0604 沖縄県南城市玉城字玉城420番地
電話(098)948-1513 FAX(098)948-7051
<https://www.tamagusuku-youthhome.com>
info@tamagusuku-youthhome.com

【指定管理者】一般社団法人 沖縄じんぶんの杜共同企業体



1. 運営方針と重点目標

(1) 運営方針

本県の青少年の家設置目的である学校や家庭では得難い集団宿泊体験や自然体験活動等を展開するとともに、オンライン技術を活用しながら、社会教育活動の支援に努める。

- ・利用団体の自主性を尊重し、研修の充実に寄与する提案を心がける。
- ・利用者の目線に立った、適切な接遇と安全利用の確保に努める。
- ・利用者ニーズの把握に努め、柔軟なプログラムの開発に取り組む。
- ・職員の資質向上に積極的に取り組み、利用者への対応力を高める。
- ・学びつながっていく豊かな地域社会づくりに寄与する。

(2) 重点努力目標

家族で楽しむ体験活動の促進、学級等の小集団経営について実践的に学ぶプログラムの提供、自然体験と教科学習の融合を目指した取り組みを推進するとともに、新しい地域づくりの担い手の育成に向けて、学びと活動の好循環を支える学習拠点として、充実した施設運営を目指す。

- ・利用者の安心安全な受入れを目指し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、工事で提供できない野外炊飯活動に変わる防災炊飯プログラムの定着を図る。
- ・自然体験の中に教科学習の要素を組み込んだプログラムを開発し、利用促進を図る。
- ・プロジェクトアドベンチャー、プロジェクトワイルドの手法を参考に、学校や学童クラブ等の担当者が行う日々の集団活動へ貢献できる研修プログラムの開発と提供を目指す。
- ・コロナ禍で急激な進化を遂げた、オンラインを活用した学びの交流を支える環境整備を図る。

(3) 行動指針

- ・安全管理の徹底 施設の安全利用の確保へ向けて、安全指導の徹底を図る
- ・クリンリネス いつも清潔な施設を目指し、感染症対策等の徹底を図る
- ・フレンドリーサービス 教育施設としての明るい接遇、挨拶の徹底を図る
- ・+(プラス)プログラム 学びの楽しさを引き出すプログラムの開発に取り組む

お申し込みの前に

沖縄県立玉城青少年の家は、青少年の健全育成や社会教育の振興を図るための研修施設です。当施設の趣旨を十分ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。

1. 一般の宿泊施設（ホテルや民宿など）のようなサービスはありません
2. 活動計画書を作成してください
(活動の時間・場所・内容を決め、確実な計画を立てる)
3. 団体引率者と施設職員との事前打ち合わせを行うこと
4. 事前の計画に沿った活動を時間厳守で行うこと
5. 使用後の清掃を行うこと

また、下記の事項に該当する場合はご利用をお断りすることや退所を命ずることがあります。

1. 感染症患者、酩酊者、秩序を乱す者、又は乱すおそれがあると認められる者
2. 本所長が不適当と認めた活動を行う団体
3. 事前打ち合わせで計画した活動内容を許可なく変更したとき
4. 施設職員からの管理上必要な指示に従わないとき

目次

1. 運営方針と重点目標	
2. 沿革	1
3. 名称及び位置・環境	5
4. 施設の概要	6
(1) 施設の案内図	
(2) 施設の平面図	
5. 利用状況	8
(1) 令和5年度(2023年度)	
月別利用状況	
(2) 利用団体区分	
6. 令和6年度 事業計画一覧表	9
(1) 主催事業	
(2) 自主事業	
7. 組織及び業務分掌	11
8. 危機管理計画	12

2. 沿革

年月日	内 容
【沖縄県 直営】 昭和54年 11月 1日	沖縄県立教育機関設置条例の一部改正、施行により沖縄県立玉城少年自然の家が設置され、長嶺進盛が初代所長として発令
昭和55年 5月 2日	百名小学校5年生(61人)日帰り学習受け入れ第1号
平成22年 3月31日	施設名を「少年自然の家」から「青少年の家」に変更、沖縄県直営を終了し、指定管理者に業務を引き継ぐ (歴代所長)1長嶺進盛、2仲村幸信、3宜保栄次郎、4真玉橋景洸、5辻野富男、6奥平寛、7島勇夫、8新垣末子、9松田俊世、10山根義治、11仲里健、12前原昌直、13石垣安重、14垣花実秀(沖縄県直営・・・31年間)
【指定管理者 開始】	初代指定管理者・・・共同企業体うないシルバー人材センター
平成23年 4月 1日	指定管理者「共同企業体うないシルバー人材センター」業務開始 第15代所長 知念進
平成26年 4月 1日	指定管理者「公益社団法人南城市シルバー人材センター」となる 15知念進、16中村正賢
平成31年 3月31日	公益社団法人南城市シルバー人材センター 指定管理終了(5年間)
平成31年 4月 1日	2代目指定管理者・・・一般社団法人 沖縄じんぶん考房 指定管理者 一般社団法人 沖縄じんぶん考房 指定管理期間開始 17山根義治、18前泊肇、19田端一正 平成31年度 辞令交付 所長 山根義治、総務班長 前泊肇、事務係 砂川司、活動促進班長 吉本健二、活動促進係 知念夏奈子 相川和郎 山田明宏 與那覇裕和、活動促進係非常勤 与那覇実、施設管理係 東孝志、以上10名発令
5月 3日	平成31年度青少年教育施設職員研修会(～5日) 於:名護青少年の家
16日	基本設計に関するヒアリング、活動促進係 山田明宏 プロジェクトアドベンチャー指導者養成研修へ派遣(山梨県北杜市)～21日
7月 8日	令和元年度 県立青少年教育施設計画訪問
8月14日	那覇市若狭公民館にて職員研修(テーマ:若狭公民館の企画づくり)
19日	平成31年度 県立高等学校中堅教諭等資質向上研修 受入れ(～21日) 沖縄県立 名護商工高等学校 三笥千晶 教諭
9月17日	令和元年度 第2回青少年教育施設定例連絡会
24日	AEDをリースにて新規調達
25日	職場体験学習の受入れ 佐敷中学校 2名(～27日)
10月 8日	職場体験学習の受入れ 知念中学校 2名(～10日)
24日	発電機室PCB含有変圧器の撤去
11月 6日	知念高等学校インターンシップ受入れ 1名(～8日)

年月日	内 容
20日	職場体験学習受入れ 大里中学校 4名、玉城中学校 4名
26日	車椅子の購入整備(1台)
12月 4日	船越小学校 職場見学受入れ 4名
11日	向陽高等学校インターンシップ受入れ 2名(～13日)
17日	第1回 自衛消防訓練
令和2年 1月20日	総務班長 前泊肇 社会教育主事任用資格取得講習派遣(～2月26日)
21日	県費で三角テント15張購入
23日	基本設計受託業者と設計図等の調整
27日	令和元年度 第3回青少年教育施設定例連絡会
3月 2日	新型コロナウイルス感染症対策のための利用者受入れ停止による閉所(～5月20日)
4日	南城市長(瑞慶覧長敏市長)を表敬訪問
19日	第2回 自衛消防訓練
26日	公用車(トヨタノア8名乗り)購入
4月 1日	令和2年度 辞令交付 所長 山根義治、総務班長 前泊肇、事務係 砂川司、活動促進班長 相川和郎、 活動促進係 山田明宏 兼本暖、施設管理係 東孝志、以上7名発令
5月20日	新型コロナウイルス感染症対策のための利用者受入れ停止を解除
6月 6日	活動促進係 兼本暖、仲嶺和 自然体験活動指導者養成事業へ派遣(沖縄県渡嘉敷村) ～7日
6月30日	所長 山根義治 退職
7月 1日	総務班長 前泊肇が所長へ異動発令赴任
10日	文部科学省「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」の 委託対象に選ばれる
10月17日	文部科学省委託事業「南城市でシーカヤック体験&ビーチコーミング」開催
27日	第1回消防訓練
31日	活動促進係 兼本暖 仲嶺和 プロジェクトワイルド講習会へ派遣(福岡県北九州市) ～11月1日
12月26日	文部科学省委託事業「石窯deカーボンニュートラルなピザ作り&学びの森」開催
令和3年 1月21日	活動促進係 兼本暖 社会教育主事講習[B]派遣～2月18日
28日	活動促進係 相川和郎 山田明宏 仲嶺和 施設管理係 東孝志刈払機取扱作業 者に対する安全衛生教育へ派遣
29日	施設管理係 東孝志 伐木等の業務の特別教育へ職員1名派遣～31日
2月 2日	1階研修室のインターネット環境を整備
25日	研修室を、沖縄県生涯学習センターへ「おきなわ県民カレッジ特別サテライト会場」認定 へ向けた調整をすすめる

年月日	内 容
15日	新築工事による野外炊飯場の利用制限下で実施するための、一般社団法人災害プラットフォームおきなわと防災炊き出しプログラム共同開発へ着手
3月13日	プレイホールで使用する、ソフト平均台を購入
25日	第2回 自衛消防訓練
31日	防災炊き出しプログラムの開発終了。7月実施へ向け準備開始
4月 1日	令和3年度辞令交付 所長 前泊肇、業務班長 砂川司、活動促進係リーダー 相川和郎、 活動促進係 兼本暖、仲嶺和、施設管理係 東孝志、以上6名発令 情報発信強化のためホームページを刷新 沖縄県民カレッジ特別サテライト会場として運用開始
12日	新型コロナウイルス感染拡大防止のためのまん延防止等重点措置による活動制限 (受け入れは20時まで)
5月 1日	活動促進係 茶川大樹 発令
10日	事務係 大城りえ 発令
23日	新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言発令による閉所(～8月31日)
6月20日	新築工事に伴う炊飯施設の利用停止
21日	新型コロナウイルス感染症予防対策のための健康チェックシートの導入
7月 3日	中止事業の動画配信スタート
31日	活動促進係 相川和郎 プロジェクトアドベンチャー山梨研修へ派遣
9月18日	活動促進係 仲嶺和 キャンプインストラクター養成研修へ派遣
10月 4日	事務係 大城りえ サービス介助士取得(合計3名が資格保有者へ)
26日	「遊びリンピックin沖縄～子ども体験フェスティバル～」出展
11月 1日	沖縄県感染防止対策認証制度の認証施設となる((宿)0331号)
24日	所長及び職員6名が防災介助士資格を取得
令和4年 1月24日	活動促進係 相川和郎 社会教育主事講習(B講習)へ派遣
2月28日	研修室のオンライン配信機材の整備
3月10日	令和3年度「沖縄地区青少年教育施設職員スキルアップセミナー」へ3名派遣
20日	活動促進係 茶川大樹 グリーンツーリズムインストラクター修了
30日	AEDボックスの設置(沖縄県生涯学習振興課) プロジェクトアドベンチャー指導者養成講座(山梨県)へ派遣(所長:前泊肇 活動促進係:仲嶺和)
5月31日	落雷により事務所電話交換機短絡の被害
6月30日	公共施設マネージャー講習修了(所長:前泊肇、事務主任:砂川司)
7月 5日	那覇商業高校インターンシップ受入
9月30日	公共施設マネージャー講習修了(事務係:大城りえ)
10月 4日	知念中学校職場体験受入

年月日	内 容
21日	プロジェクトアドベンチャー指導者養成講座(山梨県)へ派遣(活動促進係:茶川大樹)
11月 9日	大里中学校職場体験受入
19日	伐木業務特別教育講習(チェンソー)へ2名派遣(所長:前泊肇 活動促進係:兼本暖)
令和5年 2月10日	非常用発電機バッテリー取替工事
17日	令和4年度 社会教育主事B講習 修了 (活動促進係:仲嶺和)
3月15日	沖縄地区青少年教育施設スキルアップセミナー(宮古島開催)へ2名派遣(所長:前泊肇、活動促進係:茶川大樹)
4月 1日	令和5年度辞令発令 所長 田端一正、副所長 前泊肇、事務係主任 砂川司、事務係大城りえ、活動促進係主任 相川和郎、活動促進係 茶川大樹
4月	那覇市立繁多川公民館職員インターンシップ受け入れ(1名)
5月	活動促進係 望月八起、赤星涼香 採用
7月	高校生インターンシップの受入(那覇商業高校)3日間(2名)
8月 1日	台風6号襲来 後片付け作業に2週間
9月1日～11月30日	閉所し、新館への移転準備
9月	那覇市立繁多川公民館へインターンシップ派遣(活動促進係 相川和郎、茶川大樹)
10月～11月	南城市立大里中学校第2学年総合的な学習の時間「PBL学習」の取り組み(所長 田端一正、活動促進係 相川和郎、茶川大樹、望月八起)
10月	新館建築工事竣工 (本館、体育館等工事資料:約18億9千万円)
11月23日	新館へ事務所移転(電話機移転し事務業務開始)
12月 1日	新館において、全体業務開始 9月～11月の利用予約分が12月、1月に移動したため、連日大盛況の状況
12月	宮古青少年の家職員 施設見学受け入れ(7名) 名護青少年の家職員インターンシップ受け入れ(3名)
令和6年 1月12日	活動促進係 茶川大樹 社会教育主事講習B受講(～2月16日) 石川青少年の家職員 施設見学受け入れ(5名)
2月	静岡県立三ヶ日青少年の家職員 施設見学受け入れ(6名)
3月	活動促進係 新崎学 採用
3月27日	3月27日 飲み物の自動販売機設置(ガイドー)、施設案内板の設置(東門付近)
令和6年 3月31日	一般社団法人 沖縄じんぶん考房 指定管理1期目終了(5年間)
令和6年 4月 1日	指定管理者2期目・・・一般社団法人 沖縄じんぶんの杜共同企業体

3. 名称及び位置・環境

(1) 名称

沖縄県立玉城青少年の家

(2) 位置と交通

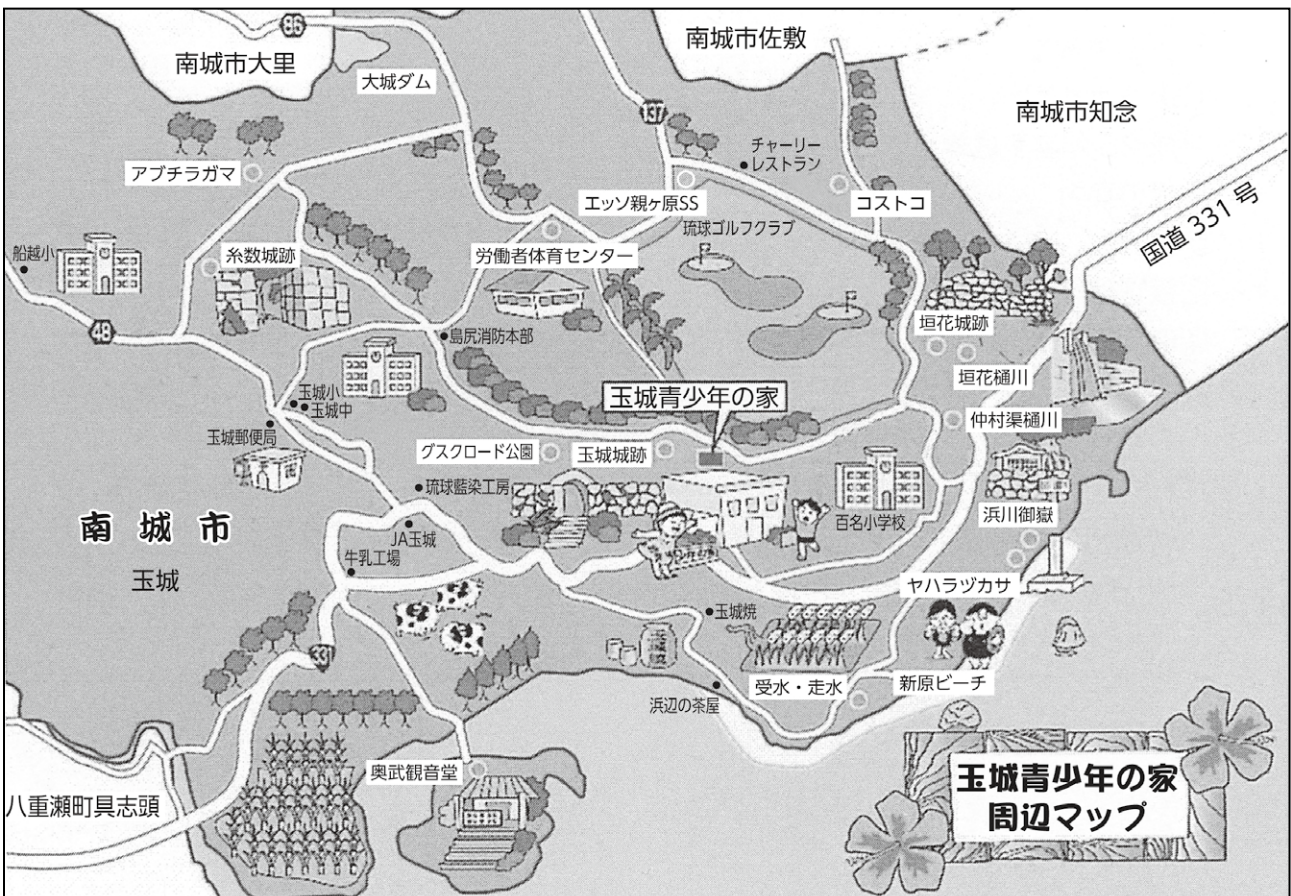
沖縄本島の南東海岸に面し、東経127度46分58秒、北緯26度8分36秒、那覇市街地より約18km南東方、与那原より約9km南南東方付近に広がる玉城高台の海拔150mの地点に位置している。那覇から車で約50分。那覇バスターミナルより沖縄バス 新原ビーチ経由39番線 垣花バス停車、徒歩約20分。

(3) 環境

玉城青少年の家は、百名ビーチの北側に広がる玉城高台に位置する標高150mの原生林内にあり、周辺の景色を眺めると東から西南西にかけて紺碧の太平洋が水平線の彼方までつづき、東方海上には久高島や幾つかの小島が点在し、海と小島とのコントラストが見事な景観をなしている。眼下には、沖縄八景の一つ奥武島が見おろされ、南西には喜屋武岬が広がり、糸満市の南部戦跡を一望できる。

また、近くには玉城、糸数、垣花の各城跡やミントングスク、受水走水等沖縄の歴史にゆかりのある史跡も多く、海水浴に最適な百名ビーチとも隣接しており周辺一帯の緑の木々にさえずる野鳥のコーラスと美しい雄大な自然に恵まれ、その自然を利用して、ウォークラリー、グリーンアドベンチャー、自然観察、フィールドワーク等の多彩な野外活動ができる環境にある。

(4) 周辺マップ



4. 施設の概要

(1) 施設の案内図

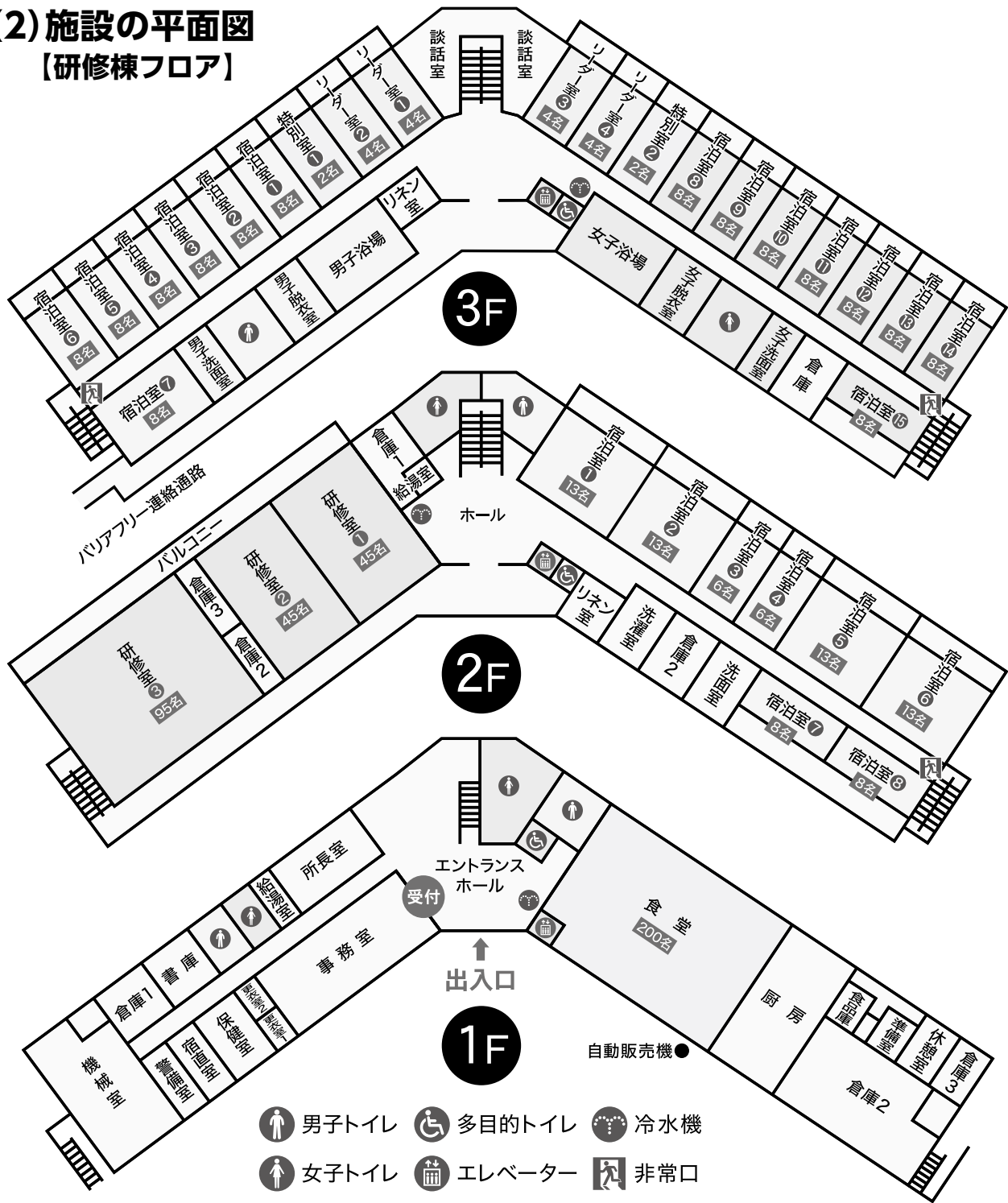


	施設	人数
野外施設	A炊飯棟 20釜	200
	B炊飯棟 10釜	100
	テントサイト	80
	A 営火場	100
	多目的広場	150



施設の規模	
①施工費	約18億9千万円
②敷地面積	49,107.69㎡
③建物面積(延床面積)	4,757.64㎡
○研修棟	3,349.23㎡
・宿泊室 220名	・食堂200名
・研修室(小2室)各45名	・研修室(大)95名
○体育館	815.02㎡
○A炊飯棟	178.24㎡ (20釜/200名)
○B炊飯棟	291.63㎡ (10釜/100名)
○トイレシャワー棟	123.52㎡
このほか	
○テントサイト80名	(8人用テント/10張)
○営火場100名	

(2) 施設の平面図 【研修棟フロア】



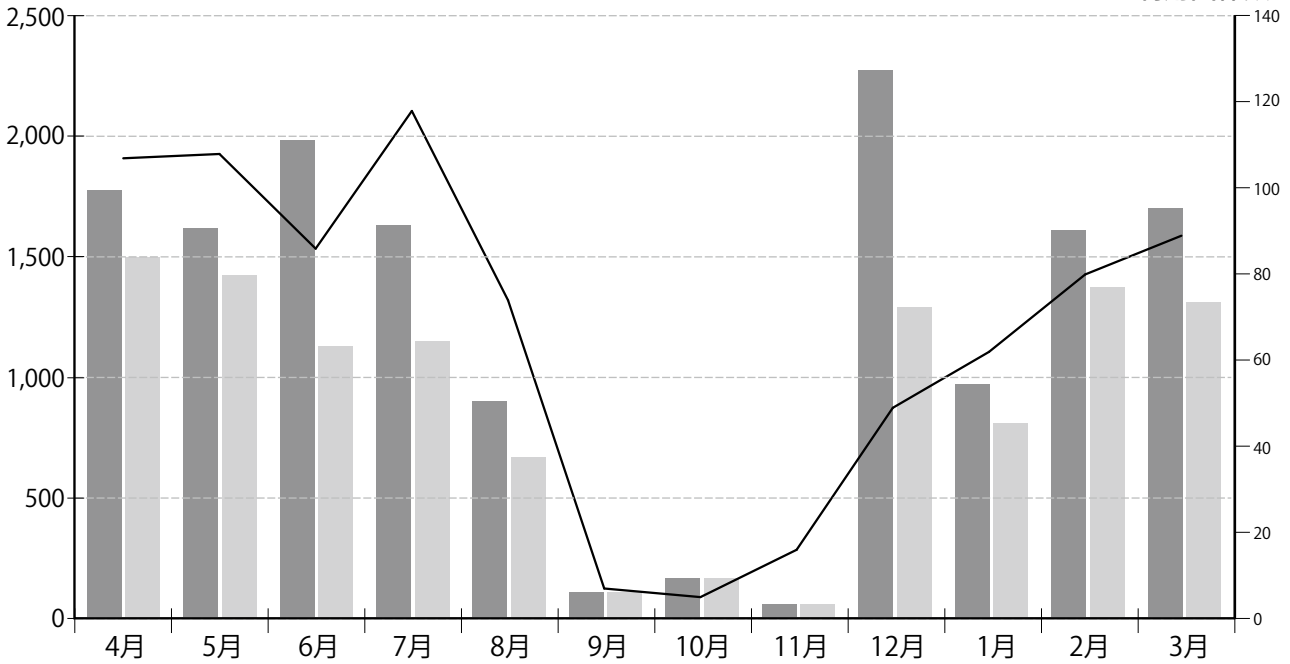
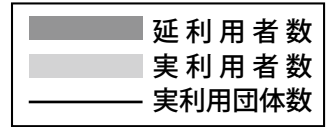
階	施設	人数
1階	食堂	200
	談話・図書コーナー	16
2階	研修室 (小) 2室	各45
	研修室 (大) 1室	95
	宿泊室 (2室) 2段ベッド	各8
	大宿泊室 (2室) 畳間 ※襖で仕切り可	各32

階	施設	人数
3階	宿泊室 (男子7室) 2段ベッド	各8
	宿泊室 (女子8室) 2段ベッド	各8
	特別室 (2室) シングルベッド	各2
	リーダー室 (4室) 2段ベッド	各4
	浴室 (男女)	各13

5. 利用状況

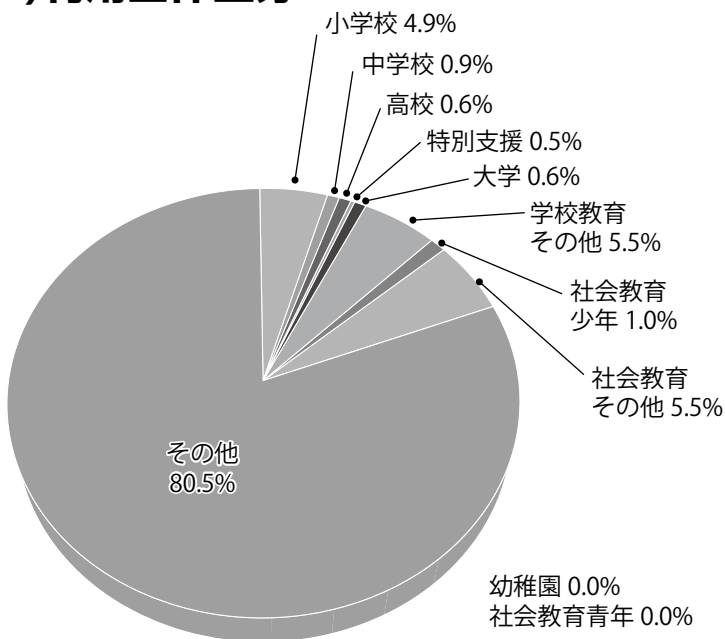
(1)令和5年度(2023年度) 月別利用状況

延べ利用者数・実利用者数
(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	1,778	1,618	1,986	1,630	898	103	160	52	2,276	969	1,610	1,701	14,781
実利用者数	1,497	1,425	1,128	1,148	664	103	160	52	1,291	806	1,373	1,311	10,958
実利用団体数	107	108	86	118	74	7	5	16	49	62	80	89	801

(2)利用団体区分



	延べ利用者数	割合
幼稚園	0	0.0%
小学校	39	4.9%
中学校	7	0.9%
高校	5	0.6%
特別支援	4	0.5%
大学	5	0.6%
学校教育 その他	44	5.5%
社会教育 少年	8	1.0%
社会教育 青年	0	0.0%
社会教育 その他	44	5.5%
その他	645	80.5%
合計	801	100%

6. 令和6年度 事業計画一覧表

(1) 主催事業

No.	事業名	対象	募集人数	開催日	趣旨内容
			参加料		
1	スターウォッチング入門① ～家族で仲間で星空観察	家族、引率できる大人がいる小学生グループ	15名 300円	4月13日(土)	天体望遠鏡に触れる機会を設け、初歩的な観察方法を学び、星空への好奇心や探求心を育む。自発的な観察活動を通して、宇宙への興味を促進し、家族の会話や団欒の時間を提供する。
2	子どもあそび祭り in 玉城 ～障がいがある人もない人も一緒に楽しめる子どもの遊びまつり	一般、子ども連れの家族	150名程度 実費徴収	5月5日(日)	玉城青少年の家を会場に、沖縄県レクリエーション協会との共催で体験フェスティバルを開催する。現在の施設内で可能な数の体験ブースを設置し、レクリエーション活動の体験と普及を図る。ブース毎の内容と運営については、レクリエーション協会加盟団体や課程認定校に依頼し、参加者は、県内で活動する各レクリエーション団体が提供するプログラムを実際に体験する。
3	青少年の家プログラムサポート実習 ～入門編&実践編	施設利用団体 引率者 教員志望者 学校職員等 一般	①(入門編) 無料 30名 ②(実践編) 800円 30名	5月18日(土)	団体等が野外活動を行うにあたっての効果的なプログラムの展開方法や活動の意味について学ぶ機会を提供する。野外活動のリーダーや引率者として、学校の宿泊学習や施設利用時などに、活動目的を主体的に取り組める人材の育成を行う。新規推奨プログラムである防災炊飯も紹介する。
4	初心者陶芸教室 ～親子で土に触れて作品づくり	5歳以上の家族	40名 1,400円	6月29日(土) 調整中	地元の玉城焼工房と連携し、子ども達を中心に、沖縄の焼き物について、その工程や原材料(土など)について学ぶ。実際に粘土を成形して作っていく創作体験をすることで、沖縄の伝統工芸と芸術の理解を促進し、郷土愛と創造性を育む。
5	野生生物の魅力と人との関わりを 探る ～大切にしたい自然って何だろう?	小学生以上	20名 500円	調整中	野生生物とそれを取り巻く環境やつながりについて、捕獲、観察、描写、外来種問題考察、プロジェクトワイルドの技法を取り入れたアクティビティを通して理解を深め、持続可能な社会の実現へ責任ある行動ができるようになるためのヒントを探る。野生生物が人類と環境に対して、どの程度寄り添っているかを考える。
6	玉城青少年の家でプレイパーク! ～大人も子どもも自由に楽しもう	家族・一般	100名程度 無料	7月28日(日)	精神的健康度が高まり、素材から仲間と智慧を出し合い目的物を作成する等、開放された環境の中で感性や想像力を育むとされるプレイパークの手法により、自発性を持った学びと展開、自立的に行動する能力を培いながらも人間関係の形成への貢献を目指し、自然の素材を用いた体験の場を提供する。
7	星空の魅力発見 ～玉城で星空観察	小学生のいる 家族等の小グループ	30名 300円 ※宿泊希望者は、別途シート代	8月9日(金) 2025年 1月4日(土) ※1月は再調整	街明かりから離れた施設の特性を活かし、那覇市星空公民館と連携して天体望遠鏡を使った宿泊型の観察会を行う。双子座流星群の好条件時に実施することで、星空の魅力を探求する機会をつくる。観察の奥深さや楽しみ方を深める学習活動として実施する。
8	スターウォッチング入門② ～家族で仲間で星空観察	家族、引率できる大人がいる小学生グループ	15名 300円	2025年 3月7日(土)	天体望遠鏡に触れる機会を設け、初歩的な観察方法を学び、星空への好奇心や探求心を育む。自発的な観察活動を通して、宇宙への興味を促進し、家族の会話や団欒の時間を提供する。
9	南城市de歴史散歩 ～船越集落 区民編	小学生以上 一般	20名 無料	調整中	施設周辺の史跡を教材とし散策しながら歴史文化財の逸話や伝説を伝えその魅力発信する。また、歩くという活動を加えることで健康づくりの推進を図る。南城市中央公民館、沖縄県立博物館・美術館との連携事業。
10	南城市de歴史散歩 ～船越集落 県民編	小学生以上 一般	20名 500円	調整中	施設周辺の史跡を教材とし散策しながら歴史文化財の逸話や伝説を伝えその魅力発信する。また、歩くという活動を加えることで健康づくりの推進を図る。南城市中央公民館、沖縄県立博物館・美術館との連携事業。
11	子ども若者自立共育フォローアップ事業 ～野外体験で未来を育む	自立支援施設を利用している 児童等	20名 実費徴収	通年実施	南城市教育委員会と連携し、自立支援施設へ通所する子どもたちの心身の状態に無理のない活動ができると判断できるタイミングで、施設での野外炊飯、キャンプ活動等の野外活動を実施する。(連携先の一部変更)

(2)自主事業

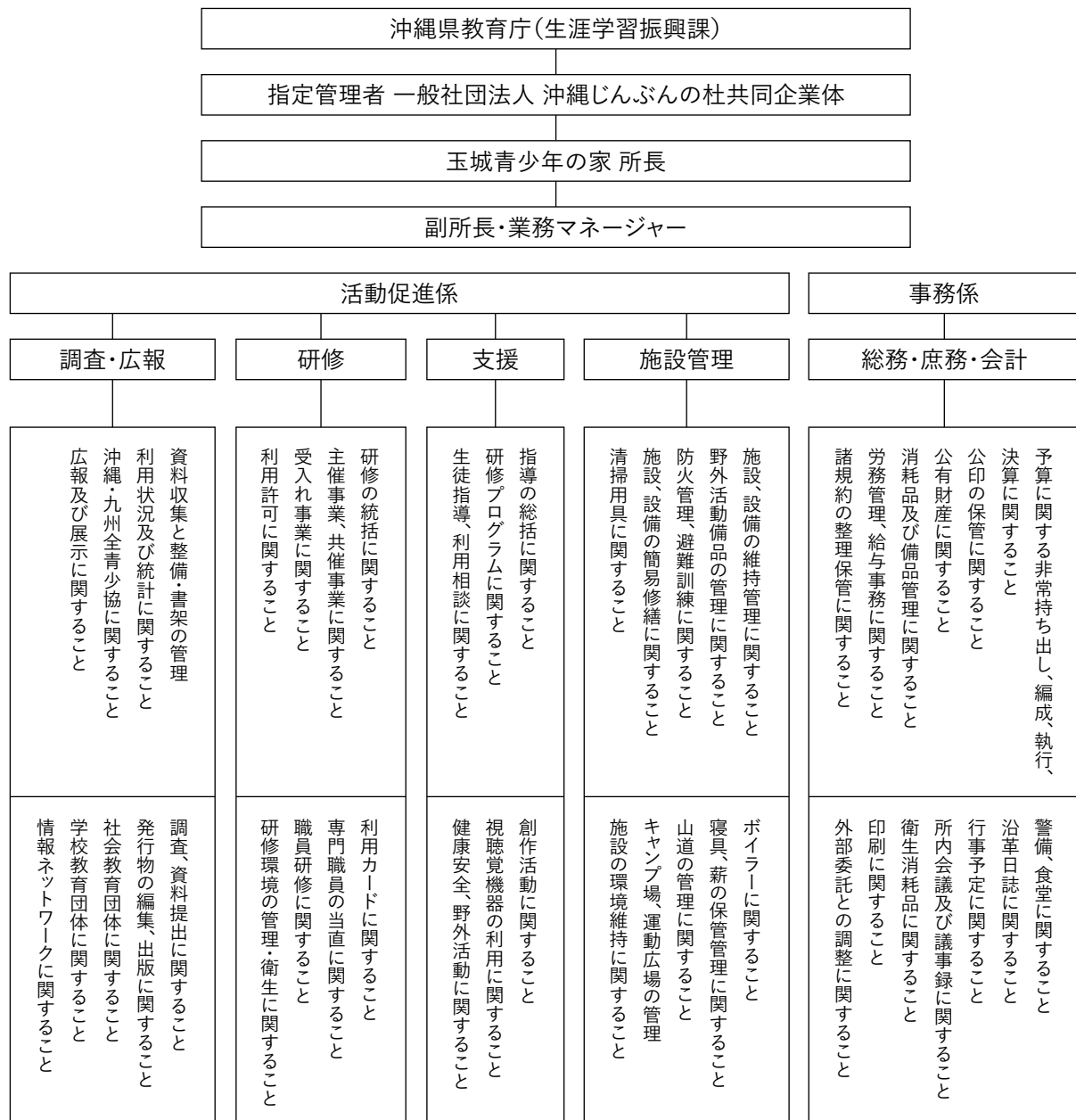
No.	事業名	対象	募集人数 参加料	日時	趣旨内容
1	家族で自然教室に挑戦! ～新しい施設で体験を楽しもう	家族等の 小グループ	25名 2,500円	4月27日(土)～ 28日(日)	宿泊体験、野外調理、親子レク等の基本的な野外活動を通して、親子でのびのびと過ごし、家族の絆を深める。また、プロジェクトワイルドの技法を交え、生きものや鳥に関するゲームを行い自然や環境への興味・関心を高める。
2	こどもの遊びづくり隊 ～グループレクリエーション サポーター研修	学童クラブ等 指導員	30名 500円 ※別途テキスト代 1,000円	5月28日(火)	子どもたちの日常に身近な場所で、イベントに頼らない体験活動が展開されるための企画力向上を目指し、子どもに関わる職業や活動に携わる方を対象に、遊びやレクリエーションの企画づくりのスキルアップのための実践研修を行う。
3	学びつながら地域づくりを考える ～オンライン事例発表セミナー ①	地域づくり、社会教育活動に関心のある方	会場25名 オンライン 定員100名 【zoomミーティング(pro版)の 上限人数】 無料	6月17日(土) ※発表者の調整で変動あり 土曜日または 日曜日	教育協働セミナーを主催してきた教育協働研究所～岳陽舎～と連携し、玉城青少年の家を発表の主会場とし、オンラインセミナーでの配信と合わせたハイブリッド形式で、地域教育協働の事例発表会を開催する。参加案内は、行政、社会教育関係団体、一般県民等を対象に幅広くおこなう。
4	チャレンジする気持を体感する アクティビティ! ～チームワークゲームを学ぶ	学校、学童クラブの職員、教師を目指す方、子どもに関わる活動等に携わる方	20名 500円	6月30日(日)	子どもに関わる活動において、チームワークとは何か、どうすればうまく機能するのかという課題を、プロジェクトアドベンチャー(PA)の手法を用いてスキルアップを図る。
5	出張!ミツバチ教室&はちみつ 収穫体験	5歳以上の子どもがいる家族	20名 1,300円	7月 ※調整中	蜂を活用して持続可能な自然環境やSDGsについて考える。観察や収穫を体験し、ハチの能力や自然の中での役割、人間との関わり、蜂蜜が食べられるようになるまでの流れ等を学ぶ。また、プロジェクトワイルドの技法を織り交ぜ、野生生物の魅力を学ぶことで、自然について関心を高めるきっかけをつくる。
6	仲村渠の稲作を学ぶ① ～稲作発祥の地で田植え体験	稲作体験に興味のある 家族	20名 大人1,000円 こども500円	8月 調整中	仲村渠区出身者で構成される仲村渠稲作会と連携し、沖縄の稲作発祥の地とされる仲村渠で田植え体験を行う。
7	子どもが主役の海遊び ～サバニ体験de海の魅力を感じよう!	小学生を含む 家族	30名程度 2,000円	9月21日(土)	南城市、糸満市NPO法人ハマスーキと共催で、サバニ体験と海人文化を学ぶ機会をとおして海遊びから環境問題を考えるきっかけをつくる。
8	キャンプという名の防災訓練 ～キミは48時間を生き抜くことができるか	小学4年生～ 中学3年生	25名 4,000円	10月12日～14日 ※予備日 2月22日～24日	玉城青少年の家と一般社団法人災害プラットフォームおきなわで共同開発した、『防災キャンプ キャンプという名の防災訓練「防災を、地域の日常に」』のテキストに沿って、監修・著者である防災士・稲垣暁 氏を講師に、二泊三日の日程で、キャンプ活動を実施する。
9	仲村渠の稲作を学ぶ② ～稲作発祥の地で収穫体験	稲作体験に興味のある 家族	20名 大人1,000円 こども500円	11月 調整中	仲村渠区出身者で構成される仲村渠稲作会と連携し、沖縄の稲作発祥の地とされる仲村渠で稲の収穫と脱穀の体験を行う。
10	野外で作ろうエジプト料理 ～食をとおした異文化交流	小学生のいる 家族等の小グループ	15組 30名 調整中 (1,000円予定)	2025年 1月25日(土)	県内にいる外国出身者とエジプト料理を調理し、海外の食をとおして異文化に触れ、交流を深める。
11	学びつながら地域づくりを考える ～オンライン事例発表セミナー ②	地域づくり、社会教育活動に関心のある方	会場25名 オンライン 定員100名 【zoomミーティング(pro版)の 上限人数】 無料	2025年 2月1日(土) ※発表者の調整で変動あり 土曜日または 日曜日	教育協働セミナーを主催してきた教育協働研究所～岳陽舎～と連携し、玉城青少年の家を発表の主会場とし、オンラインセミナーでの配信と合わせたハイブリッド形式で、地域教育協働の事例発表会を開催する。参加案内は、行政、社会教育関係団体、一般県民等を対象に幅広くおこなう。
12	たまぐすくロゲイニング ～知力!体力!チーム力! 高得点を目指せ!	10km以上歩ける人、小学生以上の子どもがいる家族又は友人知人2～5名で1グループ(子どもだけの参加は不可)	50名 300円	2025年 3月20日(木) ※春分の日	ロゲイニングとは、スタート前に通過ポイントの書かれた地図が支給され、地図をもとに制限時間内にいかにポイントを効率的に回って得点するかを競う競技である。またフォトロゲイニングとは通過ポイントで指定のポーズで写真を撮って回るものである。今回、ボーイスカウト沖縄県連盟と沖縄県キャンプ協会から提供のあった南城市玉城エリアの史跡などを巡るロゲイニングコースマップを活用し、家族やグループ単位で知力、体力、チーム力を競いながら、集落・史跡の風土・文化を感じるプログラムを展開する。

7. 組織及び業務分掌

	職名	職員数	備考(担当業務等)
1	所長	1名	施設の総括
2	副所長・業務マネージャー	1名	所長の補佐及び移転関係担当、活動促進に係る業務、施設の衛生管理推進者
3	事務主任	1名	事務、経理の総括及び施設什器の管理、調整
4	事務補佐	1名	事務主任の補佐
5	活動促進主任	1名	受入れ事業、主催・自主・連携事業等の管理、調整
6	活動促進係	3名	受入れ事業、主催・自主・連携事業等

(1) 職員数(合計8名)

(2) 組織及び業務内容



8. 危機管理計画

(1) 危機管理の目的

利用者と所職員の生命を守り、自主的・主体的活動が安全に行える場を提供することにより、利用団体や地域社会からの信用や信頼を守ること。

(2) 危機管理対策

危機を想定した対応を検討することにより、全職員の対応力向上を図り未然防止に努め、被害を最小限にとどめるよう対応する。

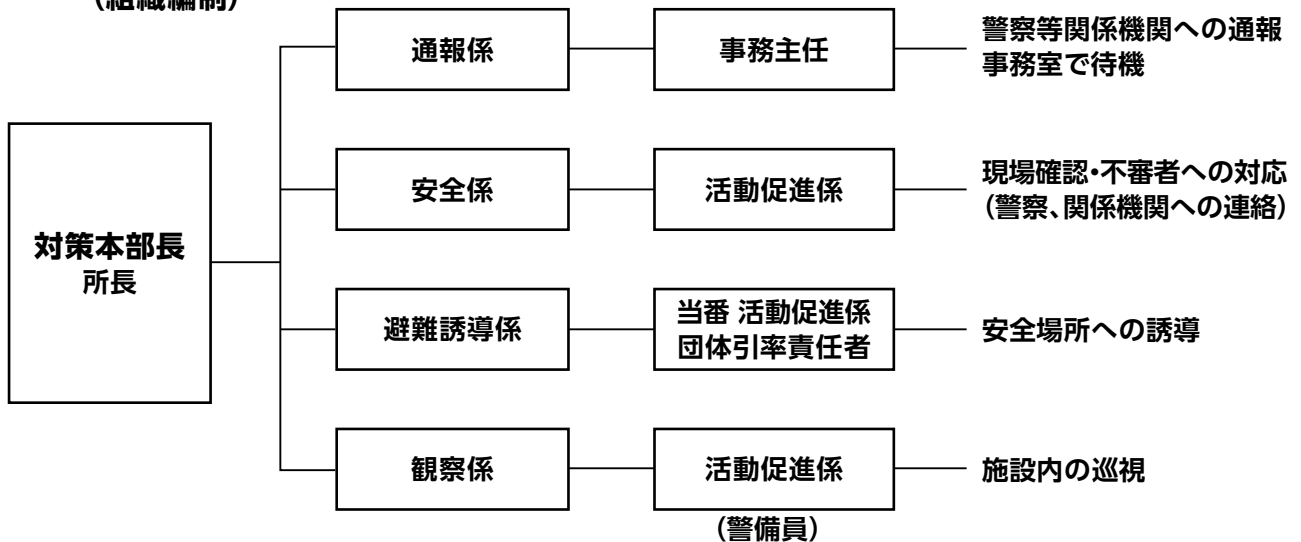
(未然防止への取組)

- ・ 危機管理・安全管理についての所内会議を行い、定期検討に努める。
- ・ 所内の施設・設備の定期点検を行なう。
- ・ 利用団体との事前打ち合わせを十分に行い、安全確保の共通理解を図る。
- ・ 監視カメラの設置、活用。
- ・ 利用者への安全指導の徹底、学習活動日程の理解を確実に行ってもらう。
- ・ 来訪者には声かけし、来訪目的を尋ねる。

(3) 危機管理体制の確立

対策本部を設置し、本部長は所長とする。本部長は情報を集約し、緊急対応後の適切な指示を行う。他の職員は現場で対応、利用者の誘導を行い、生命や身体の安全を確保する。

(4) 危機管理組織 (組織編制)

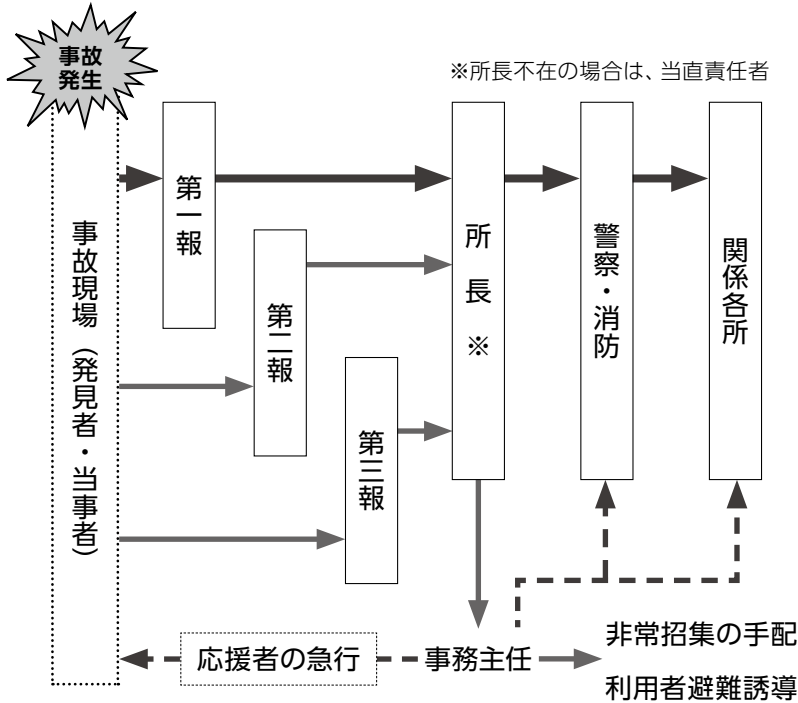


連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
県教育庁 生涯学習振興課	(098) 866-2746	島尻消防本部	(098) 948-2512
与那原警察署	(098) 945-0110	親慶原駐在所	(098) 948-1071
沖縄メディカル病院(南城市)	(098) 947-3555	南部徳洲会病院(八重瀬町)	(098) 998-3221
県立南部医療センター(南風原町)	(098) 888-0123		

(5) 危機情報の取扱方 (基本)

職員は、あらゆる事故の第一報を直ちに、下記の連絡体系図に基づき簡潔迅速に伝達(通報)する。

① 第一報 (第二報・第三報) の連絡体系



● 初期対応

(1) 事故の第一報を直ちに所長へ報告する。

→ 所長不在時は、当直責任者へ。

※5W1Hで報告すること

- ①いつ (月日・時間)
- ②どこで (場所・位置)
- ③なにが (物・人・設備)
- ④どうして (原因・内容)
- ⑤どうなった (結果・終結)

● 事故処置

① 応援者の派遣 (要請)

→ 現場に急行。状況確認し、第二報、第三報を逐次所長 (当直責任者) へ報告する。

② 必要に応じて、警察、消防へ通報する。

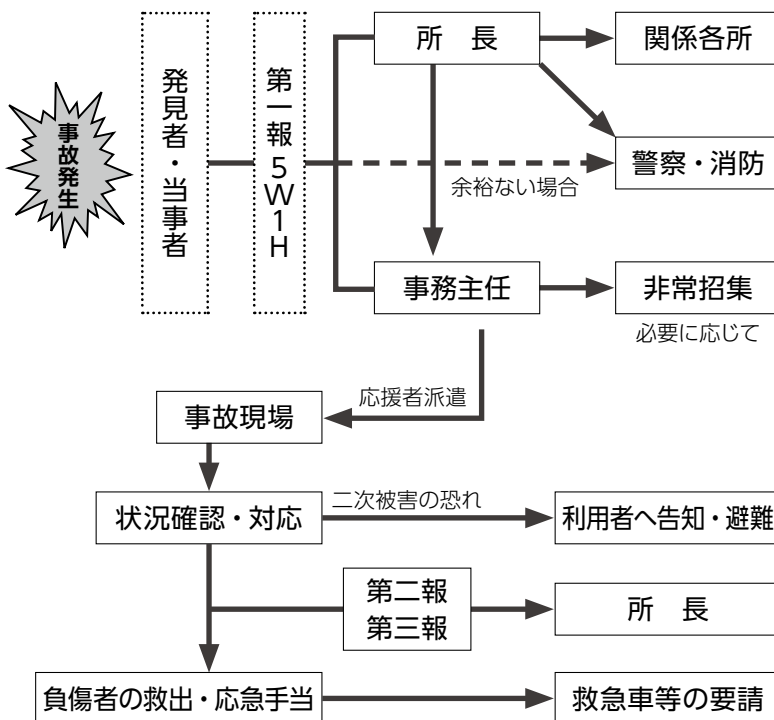
③ 利用者への告知、避難誘導

→ 二次災害の恐れがあると判断した場合には、館内放送で利用者へ状況を周知し、安全な場所へ避難誘導を行う。

④ 復旧作業へ向けて、関係各所と対応を協議

⑤ 速やかに担当課へ報告

② 事故発生時の対応方 (基本)



● 初期対応

(1) 事故の第一報を直ちに所長へ報告する。

※所長不在時は、当直責任者へ。

→ 5W1Hで報告する

(わかった範囲を速やかに)

→ 状況により、警察、消防への通報を優先

● 事故処置

① 応援者の派遣 (要請)

→ 現場に急行。状況確認し、第二報、第三報を逐次所長 (当直責任者) へ報告

② 利用者への告知、避難誘導

→ 二次災害の恐れがあると判断した場合には、館内放送で利用者へ状況を周知し、注意喚起する。

→ 状況により、利用者を安全な場所へ避難誘導

③ 負傷者の救出、収容及び応急手当を行う

→ 救急車、レスキューを要請する。

→ 収容先の記録及び負傷者の情報記録を取る

④ 復旧作業へ向けて、関係各所と対応を協議

⑤ 速やかに担当課へ報告

